

平成28年6月10日

開成町議会議長 茅沼 隆文 様

開成町議会議員・代表者 吉田 敏郎 印

派遣申請書

派遣の区分	<input type="checkbox"/> 委員会派遣（_____委員会） <input checked="" type="checkbox"/> 議員（複数） <input type="checkbox"/> 議員（単独）
派遣者氏名 （全員を記載）	佐々木昇議員、石田史行議員、 吉田敏郎議員、湯川洋治議員（4名）
目的 （調査事項又は 研修項目）	平成28年度「市町村議会議員特別セミナー①」 ～自治体経営の課題～
目的地	名称等：市町村職員中央研修所（市町村アカデミー） 住所：千葉県美浜区浜田1-1
期日（期間）	平成28年5月12日（～平成28年5月13日）
視察又は 研修の成果	別紙のとおり

市町村議会議員特別セミナー出席者名簿

役 職	議員名	所属政党	備考
議 員	佐々木 昇	無所属	
議 員	湯川 洋治	無所属	
議 員	石田 史行	無所属	
議 員	吉田 敏郎	無所属	代表

市町村議会議員特別セミナー ～自治体経営の課題～

* 開催日 平成28年5月12日（木）

平成28年5月13日（金）

* 場 所 市町村職員中央研修所

【市町村アカデミー】

（千葉県美浜区浜田1-1）

	科 目	講 師
5/12 （木）	脱成長社会に向けて	佐伯 啓思 氏 （京都大学名誉教授、京都大学こころの未来研究センター特任教授）
	地方議会から国政を視る	島田 敏男 氏 （NHK解説委員室 解説副委員長）
5/13 （金）	地方創生と地方議会の役割	青山 彰久 氏 （読売新聞東京本社編集委員）
	人口減少時代の地域づくり	北原 啓司 氏 （弘前大学大学院地域社会研究科研究科長・教授）

佐々木 昇 議員

所感等

『自治体経営の課題』をテーマに4科目の講義が行われた。

「脱成長社会に向けて」

- ・国の政策を行政学的な視点での解説が参考になった。

「地方議会から国政を視る」

- ・国の政策と地方自治との関連性や影響について一歩踏み込んで理解しておく必要を感じた。

「地方創生と地方議会の役割」

- ・地方創生への考えがあまり前向きではなかった。
- ・地域をつくる政策は、地方自治体運営の本質を見失わないように気をつけなければいけないとの事だった。
- ・地方は国の機関ではなく、主権は住民であり、議会は住民の代表である。

「人口減少時代の地域づくり」

- ・これからの地域づくりは、成長社会から成熟社会へのシフトが必要である。

国の政策の講義から始まり、国政と地方自治との関連性、地方創生の考え方やまちづくりの具体例までと流れのある講義であり、有意義な研修であった。

南部土地区画整理事業が終了した開成町ではまさにこれから、成長社会から持続可能性を基礎とした都市づくりである成熟社会づくりに取り組んでいく時期であるとする。町民、住民の方たちと一緒に次世代へつながるまちづくりに取り組んでいきたいと思う。

湯川 洋治 議員

所感等

自治体経営の課題としての講義を受けました。

中でも読売新聞編集企画委員の青山先生の地方創生と地方会議の役割の講義は、大変参考となりました。地方議会は『住民の広場』であり、地方議員は『地域づくりの専門家』である。地方創生と地方自治体の今として、今がチャンスとの見方と、国が決めて地方が従う時代への逆戻りとの見方があり自治体は三つのパターンがある。チャンスと捉える・うちのうち・面従腹背と考える。これらの論点は国に顔を向けるのか、住民に顔を向けるのか、うまくいかない自治体のケースとして、自治体計画が『地方創生交付金』の交付と直結している自治体があった。また地域の

活性化は数字なのか、政府はなぜ自治体政策に数値目標を求めたのか、地域づくりとは数字でなく地域に対する人々の情熱と知恵と努力の結集である。英国では数値目標主義を15年続けた末に、自治への弊害を理由に廃止したケースもある。

地方議会は、経済の活性化が必要だとしても大切なのは単純な雇用創出というより『地域の中で金が回る仕組みづくりである』

これらは講義の中の一部ですが、地方議員として地域づくりの専門家を目指したいと思います。

石田 史行 議員

所感等

①「脱成長社会に向けて」と題して京大名誉教授の佐伯啓思氏より講演。今の安倍政権の経済政策に対して辛口な内容で、行き過ぎた市場原理主義への警鐘、構造改革の限界、高度な数式で全て答えを導くアメリカ経済学に依存する経済政策の危険性を主張する内容であった。

②「地方議会から国政を視る」と題してNHK解説委員の島田敏男氏より講演。いわゆる日曜討論の司会を担当している方で、直近の世論調査に基づく国政の現状についての分析が主な内容であった。

③「地方創生と地方議会の役割」と題して読売新聞社企画委員の青山彰久氏より講演。「国に顔を向けるのか、住民に顔を向けるのか」「地域の活性化は数字で計れるものなのか」「地域の活性化は経済が全てなのか」という3つの視点から地方議会は行政が策定する地方創生案を厳しくチェックすべしとの内容であった。

④「人口減少時代の地域づくり」と題して弘前大学教授の北原啓司氏より講演。国や県の交付金・補助金に頼らない地方創生の具体例を紹介していただいた。

様々な識者からの講演を聞くことができ大変有意義であったと思う。今回学んだことを今後の議会活動に生かしていきたい。

吉田 敏郎 議員

所感等

市町村議会議員特別セミナーに参加して

「地方議会から国政を視る」

18歳選挙権、内閣支持率、伊勢志摩サミット、オバマ大統領の広島訪問、消費税10%への引き上げ、原子力発電所の運転再開、日本、世界の平和と安全等、日曜討論の島田アナが裏話を交え分かりやすく解説。が、誇張せず正しい報道をして欲しい。

「地方創生と地方議会の役割」

わが町は地方自治体の先駆者になるという考えで「いまがチャンス」と首長たちはそう思っている人が多い。しかし、計画内容の吟味を交付金目当てに国に顔を向けているだけになっていないか、無駄遣いをしていないかをチェックするのが地方議会の責任である。住民と一緒に地域政策に取り入れる議論が必要で、地域の中でお金が回る仕組みを考え活性化につながる議員活動をしていきたい。

「まち育てのススメ」

廃線の「空間」が「場所」をつなげた、富山ライトレール。「空間」だらけのシャッター商店街に元気な「場所」が登場し始める、十和田市のアートプロジェクト。郊外団地の「空間」を「場所」に変える、盛岡市松園団地の取り組み等、成功事例を聞き、真似するだけでなく、開成町独自の高齢化社会で期待されるマネジメントに取り組み、議員活動に反映していきたい。